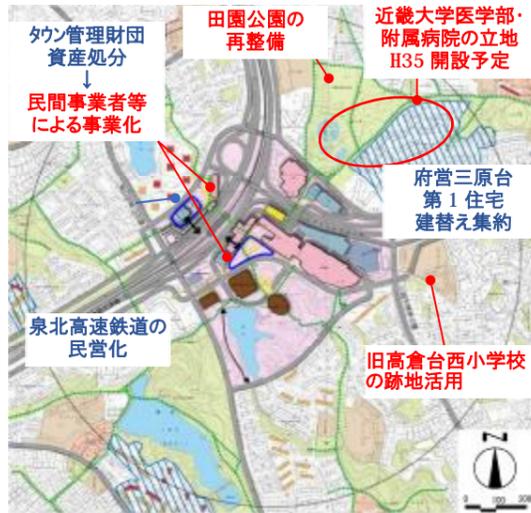


泉ヶ丘駅前地域活性化ビジョンについて

泉北ニュータウンの中核的タウンセンターであり、再生のトリガーともなる泉ヶ丘駅前地域において、地域住民、民間事業者をはじめ、この地域に関わりのある人々が、活性化の目標を共有し、共に行動するための指針として、平成23年3月に策定。

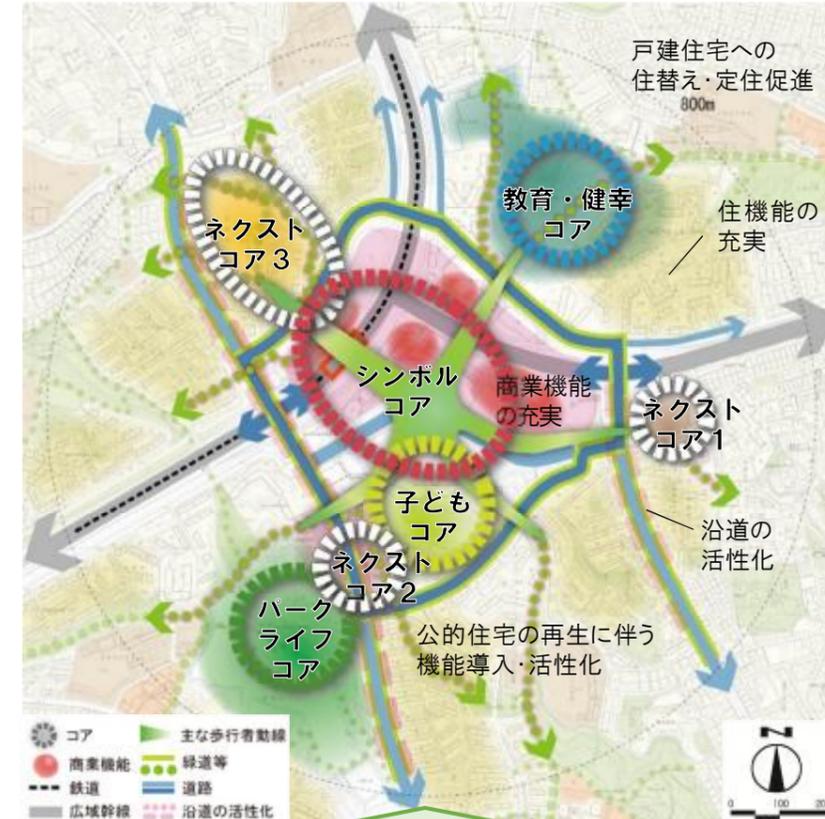
活性化の目標 (改訂前)
 「タウンセンター」から「ライブタウンセンター」へ
 誰もが、「職」「遊」「学」「住」において「いきいき」と活動し、それぞれの立場で主役となれるまち

駅前施設の再編や近畿大学医学部・附属病院の立地など、今後本地域が大きく変わろうとしている機会を最大限に活かし、さらなる活性化の推進を図るため、本ビジョンを平成27年1月に改訂。



機能導入・取り組み展開のイメージ

新たな機能導入・価値創造の拠点となるコアを配置し、活性化に向けた取り組みを展開していく。



- シンボルコア** 泉ヶ丘や泉北ニュータウンの象徴となる本地域の「まちの顔」
- 教育・健幸コア** 教育・医療・研究機能を有し、『健幸』社会の実現に向けた拠点
- 子どもコア** 子どもが一日中愉しめる遊びの拠点・親も楽しく子育てができる拠点
- パークライフコア** 公園等で新たな価値とライフスタイルを創造・発信する拠点
- ネクストコア**
 - 1教育、交流、防災機能等の将来ニーズに対応する拠点を想定
 - 2市民のアクティビティの場等を導入する拠点を想定
 - 3新産業や住宅、宿泊機能等の将来ニーズに対応する拠点を想定

実現を支える環境と基盤

- 豊かな自然環境と都市的利便性が共存した緑を活かした魅力創造
- まちの回遊性とアクセスしやすさの強化
- 泉ヶ丘の賑わいと新たな魅力を生み出す住機能の充実
- 持続可能なまちを実現するエネルギー・防災等のネットワーク化
- 新たな機能導入に柔軟に対応できる場の確保と仕組みの構築

改訂後のビジョン

泉ヶ丘駅前地域活性化の目標と将来像

誰もが主役になれる「ライブタウンセンター」の実現へ
 誰もが、いきいきと、住み、働き、学び、遊び、それぞれの立場で主役となれるまち

本地域の既存の資源や可能性を活かし、今ある課題や今後の想定される課題を解決し、ここにしかない魅力や価値を生み出すことをめざして、「子育て」「健幸」「創造」の3つのテーマを設定。さらに、テーマに応じた将来像と実現をめざすライフスタイルを設定。

テーマ1 子育て

めざす将来像1 **子育てと子育てのライブタウン泉ヶ丘**

実現するライフスタイル

- ①創造力豊かで健やかに子どもが育つこと
- ②安心・便利で快適な環境で子育てができること
- ③訪れる子どもや親がまちを愉しめること



テーマ2 健幸

めざす将来像2 **「健幸」を実現するライブタウン泉ヶ丘**

実現するライフスタイル

- ①社会とつながり、心豊かに暮らせること
- ②楽しみながら身体を動かし、健康に暮らせること
- ③多様な健康・医療サービスがあり、住み慣れたまちと住まいで暮らせること



テーマ3 創造

めざす将来像3 **新たなコトが起こる・起こせるライブタウン泉ヶ丘**

実現するライフスタイル

- ①芸術・文化等の多様なアクティビティを誰もが始められる場や仕組みがあること
- ②教育・医療・健康等の機能集積を活かしたイノベーションを起こすための場や仕組みがあること



まちの歩きかた・過ごしかたイメージ

- 茶山台の小学生のAくんは、シンボルコアや子どもコアの遊具スペースや図書館、体験型民間施設などで、遊び、学んでいます。
- お母さんは隣の部屋で子育てカウンセリングやサークル活動に参加しています。



具体化に向けた推進体制

本地域の活性化を牽引するエリアマネジメント組織を構築し、次のような取り組みを進める体制を整備していく。

- ハード・ソフト事業の連携・調整
- 地区の活性化の持続的発展をめざすPDCAサイクルの実施
- 公的資産等の管理運営とこれらを原資とした活動の展開
- 地域住民や事業者などとの目標等の共有や連携

